

ロシアの東方政策と極東地域開発に関する研究



国際言語文化学科 **堀内 賢志**

● 連絡先 E-mail: khoriuchi@u-shizuoka-ken.ac.jp



ロシア, 極東地域, 東方シフト

ロシアは、伝統的な欧米偏重の対外関係を転換すべく、アジア諸国との関係強化と極東・シベリア地域の開発を強化する「東方シフト」という政策を進めてきました。こうしたロシアの政策の進捗状況を追いながら、分析を進めています。

2022年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻は、国際社会の強い非難を受けました。その一方、アジアを中心とするユーラシアの非欧米諸国にはロシアと政治的・経済的な関係を維持する国が少なくありません。その背景には、上述の政策の中でロシアがこうした国々と独自の関係を築いてきたことがあります。ロシアはエネルギー開発や輸送インフラの整備、極東地域の社会インフラ整備など、その取り組みをさらに強化しようとしています。こうしたロシアとアジア、ユーラシアの非欧米諸国との関係は、今後の国際秩序の行方にも大きな影響を与えると考えられます。



ウラジオストク・ルースキー島の極東連邦大学キャンパス。2012年にウラジオストク APEC の会場として建設され、2015年より年次開催されている「東方経済フォーラム」の会場ともなっている。

アピール
ポイント

ロシアの動向は、隣国であり、エネルギーを始めとする経済関係を維持している日本も注視していく必要があります。